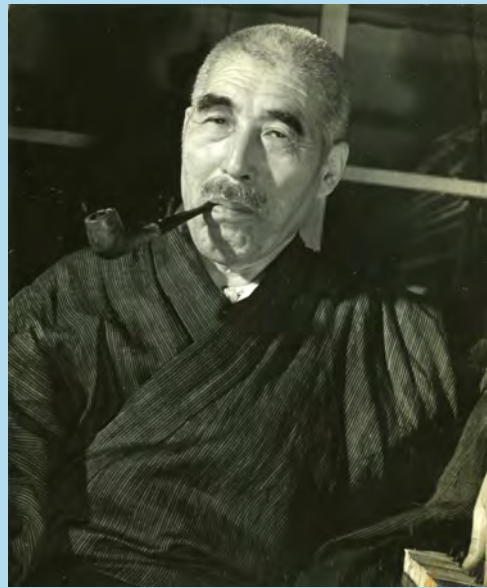


信時潔旧蔵ピアノとリードオルガンの修復記念レクチャーコンサート

現在、慶應義塾横浜初等部に収蔵される作曲家 信時潔旧蔵のピアノとリードオルガンの修復を記念して、信時潔の作品を解説と演奏を交えて紹介します。



信時潔(のぶとき きよし) 1887~1965。作曲家。幼少より賛美歌に親しみ、東京音楽学校(現・東京藝術大学音楽学部)に入学。チェロを学んだのち作曲に転ずる。1920~22年、文部省在外研究員としてドイツに留学。ベルリンでゲオルク・シューマンに作曲を師事。帰国後、東京音楽学校教授として就任。下總皖一、長谷川良夫、高田三郎、大中恩ほか数多くの後進を育てた。主な作品に交声曲「海道東征」、歌曲集「沙羅」、独唱曲・合唱曲「海行かば」など。『コールユーンゲン』ほか音楽教科書の編纂・監修にも力を注いだ。

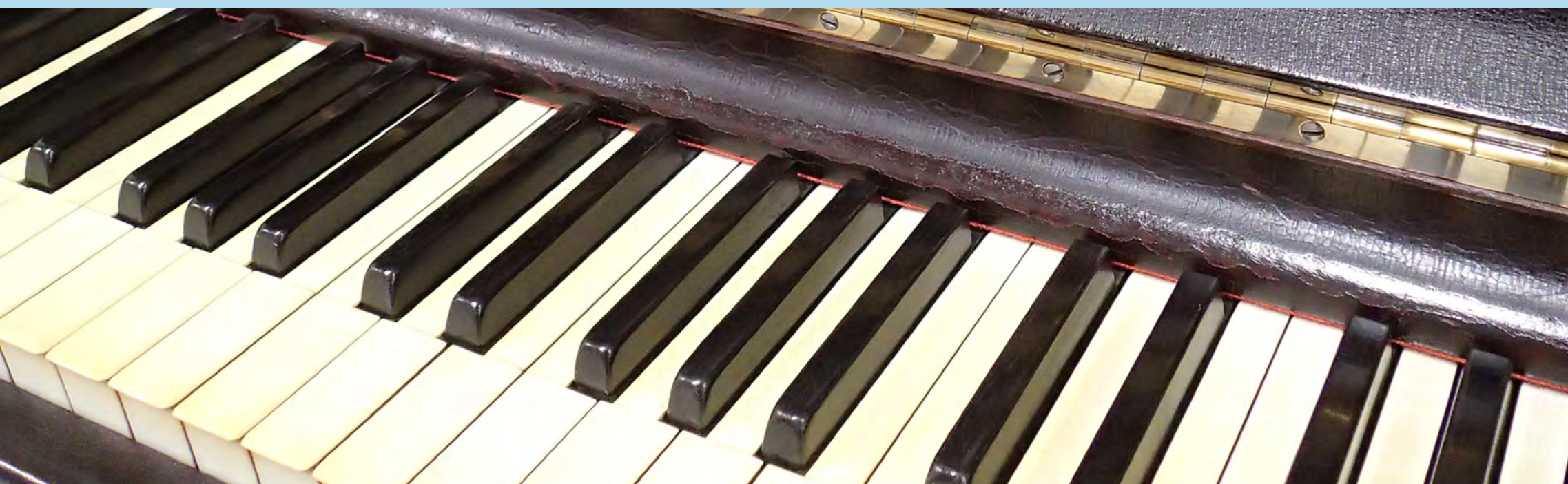
曲目 歌曲 『沙羅』より「丹澤」「沙羅」
「帰去来」
ピアノ曲 『木の葉集』より「口笛」「子守唄」「行進曲」他
「慶應義塾塾歌」他

講演／解説

信時裕子(のぶとき ゆうこ)

武蔵野音楽大学(音楽学専攻)卒業。日本近代音楽館に20余年勤務の傍ら、祖父・信時潔の調査・研究を継続。2005年、信時潔「独唱曲集」「合唱曲集」「ピアノ曲集」(春秋社)の復刻を推進。2008年、CD『SP音源復刻盤 信時潔作品集』(文化庁芸術祭大賞受賞)の構成・解説を担当。2012年、洋楽文化史研究会によるコンサート「生誕125年 信時潔とその系譜」企画に参加。同年『信時潔音楽随想集 バッハに非ず』(アルテスパブリッシング)を編集。科研費助成事業「信時潔に関する基礎的研究」の研究員として、東京藝術大学附属図書館・信時潔文庫の資料整理、目録作成を担当。同文庫貴重楽譜データベースは2017年より公開されている。WEBサイト「信時潔研究ガイド」主宰。現在、東京音楽大学付属図書館司書。日本音楽学会会員。

演奏 井谷佳代(ピアノ) 中川紫音(オルガン) 穴澤ゆう子(メゾソプラノ) 以上、3名 横浜初等部教員
楽器修復 太田垣至(ピアノ) 伊藤信夫(リードオルガン)



6月9日(土) 14:00~15:30 (開場 13:30)

会場 慶應義塾横浜初等部 講堂
受講料 無料
受講対象 青葉区在住の方
定員 350名

主催 慶應義塾横浜初等部